

速記美術作品が第 25 回岡本太郎現代芸術賞に入選

速記美術の大発表 千葉大二郎

2018 年より「日本の速記」表紙を描くなどして速記と美術の親和性や可能性を追求する速記美術運動を展開しているプロジェクト「硬軟」ですが、このたび第 25 回岡本太郎現代芸術賞に「硬軟+stenographers」として入選し、来年初頭に川崎市の岡本太郎美術館にて速記美術作品を展示することが決定しました。

岡本太郎現代芸術賞は岡本太郎氏の没後に創設し、現代美術の登竜門のひとつとされている賞です。今年は 578 点の作品から選出された 24 組の作家による各作品が同会場にて展示されます。1 作品につき 5 立方メートルを割り当てられるため、大規模な作品が多く出品されることも特徴です。主催者が岡本太郎氏の言葉をかりて言うところの「ベラボー」な作品が集結する展覧会というわけです。

硬軟の作品プランとして、表紙絵を担当した「日本の速記」すべて(約 40 冊!)や映像作品に加えて、速記者による直筆の符号で壁面を埋め尽くするような構成を考えています。あわせて速記文化の歴史的資料の展示なども実現させたいです。以上のように速記術によるところが多分にある展示のため「硬軟+stenographers」という連名形式での作家名になっています。速記文化を美術の場に送り込みたい、速記文化を美術館という場で大々的に展示したいという希望を速記美術運動の着当初より抱いていたため、今回の芸術賞は願ってもない機会となります。「日本の速記」読者ならびに stenographer の方々にご高覧いただけることを楽しみにしております。

最後となりますが今回の展示では今まで以上に速記者の方々のお力添えを必要とするものとなります。物心両面でご協力いただければ幸いです。協賛いただける方がいらっしゃれば協会までご連絡をよろしくお願いいたします。

【展覧会概要】

第 25 回岡本太郎現代芸術賞

会期・2022 年 2 月 19 日～5 月 15 日

会場・川崎市岡本太郎美術館 ※詳細は美術館 HP へ

「硬軟+Stenographers」の

速記美術作品が

第25回岡本太郎現代芸術賞に入賞！」

岡本太郎現代芸術賞は岡本太郎氏の没後創設され、現代美術の登竜門のひとつとされる賞です。今年は578点の応募作品から選ばれた24組の作家による作品が同会場にて展示されます。1作品につき5立方メートルを割り当てられ、大規模な作品となります！

協賛いただける方を大募集！！

- ・作品の搬入、作成などをお手伝いいただける方
- ・協賛金をいただける方

協賛いただいた方には、イベントの報告レポート(写真入り小冊子)を美術展終了後進呈いたします！

★硬軟の作品プラン★ 入選したのはコンセプトであり、作品はこれから作っていくことになります

- 「日本の速記」40冊分の冊子を展示
- 映像作品および速記者による直筆の符号で壁面を埋め尽くす！
- 速記文化の歴史的資料の展示 etc...

速記文化を美術の場に送り込みたい、速記文化を美術館という場で大々的に展示したいという千葉さんの想いに共感していただける方、2022年は速記140周年という記念すべき年でもあります！

私たちもステノグラファーとしてこのイベントを盛り上げていきましょう！！
ご協力いただける方は下記からよろしくお願いいたします！

★★★ 協賛金のお願い ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

郵便局の振込票で1口5,000円から(何口でも！)お願いします

※振込票にお名前、住所をご記入の上、摘要欄に「美術展協賛金」と明記の上お振込みください。

【振込先】 郵便局 番号 00110-2-53583
加入者名 公益社団法人 日本速記協会

【問合せ先】 日本速記協会事務局
☎03-6205-9701 ✉info@sokki.or.jp





第 25 回岡本太郎現代芸術賞

■『硬軟+stenographers』入選・出品

■2022 年 2 月 19 日～5 月 15 日 川崎市岡本太郎美術館にて

■入場者数 13,945(平成 30 年・第 22 回)

■搬入(予定) 2022 年 1 月 22 日・23 日 10:00～17:00

●作品プランとして、速記者の方々による速記ドローイング(ボール紙へパステルで)を壁画として、その上に「日本の速記」や速記美術作品を掛けていきます。空間の中央にはモニターをはめ込んだ台を設置。

速記方式一覧などの資料をどのように作品構成へ取り込むかは検討中です。

本日の作業に加えて 1 月中旬まで協会に赴ける方々にも速記ドローイングを施していただく予定。搬入中に速記ドローイングの加筆作業を行います。目標はボール紙 85 枚以上。

●速記文字画のタブロー化や資料の借り受けなどをしたく、中根先生の許可やご協力を仰ぎたいです。

●速記医療福祉専門学校前の石碑の拓本を取る可能性があります(未交渉)。

▲美術館売店にて『日本の速記』を販売できる可能性があります。売上が出た場合は協会に納入します。

▲今回協賛金を集めていただいていることもあり 12 月 18 日時点で予想される経費を以下に記載します。

計 ¥292,500 ですが恐らく増加します。

キャンバス ¥30,000

ボール紙 ¥31,000

額?45 個 ¥120,000?

画材等 ¥27,500

モニター ¥20,000?

レンタカー ¥26,000

椅子複数 ¥30,000?

雑費 ¥8,000?

その他 未定

集まった協賛金は大切にに使わせていただきます。

協賛リターンとして特別編集する作品記録の小冊子を制作予定です。冊子には協賛いただいた方の氏名を記載しますが、例えば仮名やアカウント名など希望記載名の有無の確認が必要だと考えます。